

事業箇所総合評価シート

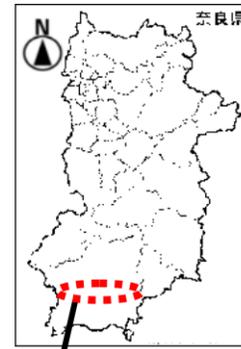
【担当課:道路建設課】

事業名	防災・安全交付金事業(道路改良)	路線名等	一般国道425号
箇所名	しげさと せいにしがわ 十津川村重里～迫西川		
事業の概要	目的	一般国道425号は、和歌山県田辺市と国道168号を結び地域間交流を支える重要な路線である。しかし、幅員狭小及び線形不良の区間が連続しており、車輛のすれ違いが困難な区間が多く、それらを解消するため、1.5車線の整備により円滑な交通の確保を図る。	
	事業内容	【奈良県道路整備基本計画の位置付け】 「安全・安心を支える道路整備の推進」:災害に強い道路の整備	
	着手年度	平成29年度	完成年度(予定)
	全体事業費	800百万円	

定性的評価	事業の必要性	<p>【必要性】</p> <p>①幅員狭小で見通しの悪い箇所や対向困難な箇所が多く、救急医療搬送やバス等の大型車の通行に支障をきたしている。(写真1)</p> <p>②平成29年度からは西川第一小学校が廃校され平谷小学校に統合になるため、沿線児童は平谷までバス通学することになり、通学バス路線の安心・安全な整備が必要(写真1・図1)</p> <p>③沿道住民は過疎化・高齢化により、自身での通院が困難な者が多く、村営バス(便数:2本/日、利用者:約2,300人/年)の重要度が高まっている。(写真1・図2)</p> <p>④平成23年の紀伊半島大水害時以降も、崩土落石等で通行止めによる孤立化を繰り返しており、地域の安全安心に繋がる道路整備が必要(崩土落石等:9件[平成25年～平成28年])(図3)</p> <p>⑤和歌山県田辺市と十津川村を結ぶ主要な道路で有り、和歌山県と奈良県の両側からの整備を進めている。</p>
	上位計画等	
	事業の有効性(事業により予想される効果及び影響)	<p>①緊急搬送時間の短縮や通院及び搬送の安全性・円滑性の確保</p> <p>②通学バス路線の安全性の確保</p> <p>③村営バスを利用した沿線住民の安心できる暮らしに繋がる。</p> <p>④災害に伴う地域の孤立解消や緊急時の物資輸送、救急活動が可能</p> <p>⑤和歌山県田辺市と十津川村への観光客等のアクセス向上が期待される。</p>
	コスト縮減への取組み	
	地元情勢等	<p>○「国道425号(十津川～龍神間)整備促進協議会」による早期整備の要望 構成メンバー:十津川村・田辺市 要望状況:毎年、奈良県に対し要望活動を実施。 平成28年度は10月に奈良県(県庁、五條土木事務所)、8月に和歌山県庁に対し要望活動を実施。</p> <p>○みんなで・守ロード取り組み地区(五條土木管内唯一の地区)(写真2)</p>
他計画他事業との関連	<p>○眺望整備候補箇所あり(十津川村小坪瀬地内)(写真3)</p> <p>○超広域連携観光圏創出事業(泉南市・田辺市・十津川村)</p>	

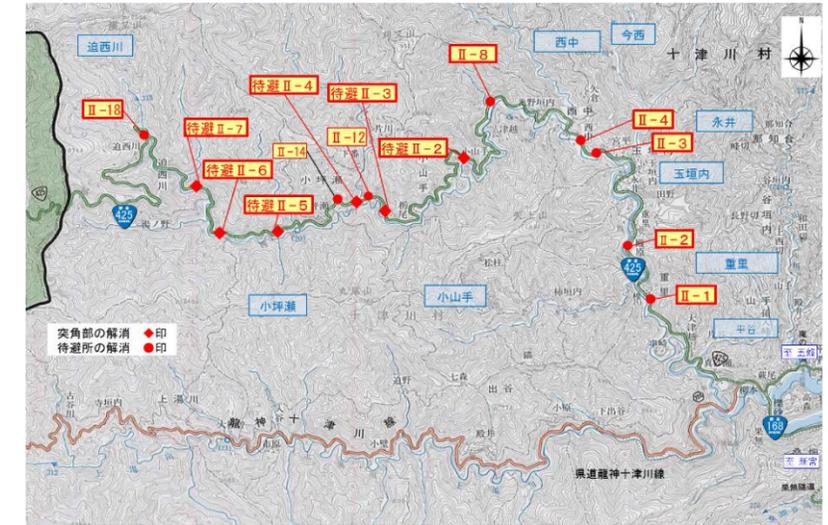
評価結果	左の理由
採択	本県南部地域における生活道路として、突角改良、待避所整備による地域住民の安全・安心な通行を確保する必要性が認められる。

【位置図】



新規事業箇所

【国道425号整備状況図】



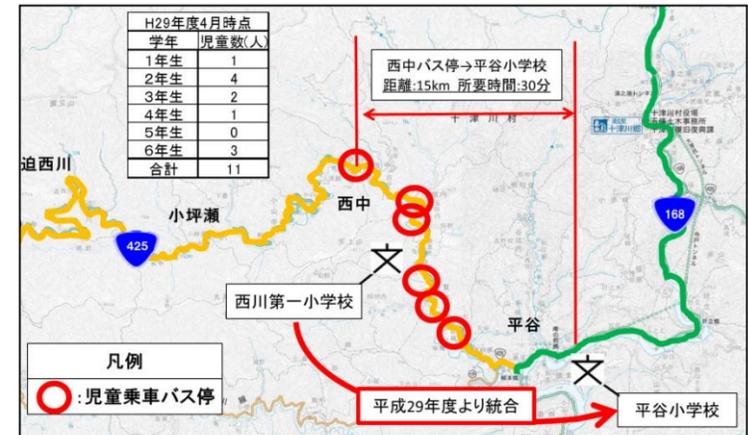
この地図は国土地理院の数値地図50000を転載(奈良県五條土木事務所管内図平成23近複第760号)

【現況写真】(写真1)



バスや救急車等の対面通行が困難

【沿線児童の通学】(図1)



この地図は国土地理院の数値地図50000を転載(奈良県五條土木事務所管内図平成23近複第760号)

【村営バス利用者数】(図2)

○村営バス利用者数		
十津川温泉～迫西川間		
年	月	乗客数(人)
平成27年	10月	270
	11月	239
	12月	190
平成28年	1月	178
	2月	157
	3月	164
	4月	183
	5月	243
	6月	177
合計	7月	148
	8月	150
	9月	189
合計		2288

【過去3年間の災害等による通行止め箇所】(図3)



この地図は国土地理院の数値地図50000を転載(奈良県五條土木事務所管内図平成23近複第760号)

【みんなで守ロード】(写真2)



【眺望整備候補箇所】(写真3)

